

平成30年度 山形歯科専門学校 学校評価書

※ 評価得点欄の値は、校内評価委員会及び同事務局全教職員の評価得点を平均したものである。なお、各自の評価得点は次の基準による。

<適切－4点、ほぼ適切－3点、やや不適切－2点、不適切－1点>

また、得点の文字色は次の通りである。

青(3.8~4.0)－「良い」、黒(3.5~3.7)－「まあまあ良い」、ピンク(3.0~3.4)－「要注意」、赤(2.9以下)－「改善必要」

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員の指導及び助言	次年度の改善点
		評価得点	成果と課題（「学校自己評価報告書」の略記・抜粋）		
1 教育理念・目標	A 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	4.0	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 教育課程編成委員会の年2回開催（含 外部有識者2名）。（A・B・C・E）</p> <p>② 文部科学大臣「職業実践専門課程」認定申請提出（10月）。（A・B・C・E）</p> <p>③ 教育理念・「育成すべき人間像（ディプロマポリシー）」の策定。（A・B・C・E）</p> <p>④ 学校HPの全面リニューアル並びにスマホ対応に改良、学校情報他の公開開始。（D）</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 学校の理念・目標の継続的な達成は、学生定員の確保並びに経営基盤の安定化が必要。（A・B・C・E）</p> <p>② 歯科医療の高度化や多職種連携の社会的要請へ対応した指導体制の構築。（A・C）</p> <p>③ 学校運営や教育活動等に係る保護者への広報の徹底。（D）</p> <p>④ 新教育課程の実施状況の検証。（E）</p>	<p>○ 文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定を受けたことは大変喜ばしいことである。今後も改善や工夫が為されることを期待する。</p> <p>○ 学校HPが大きく改良され、スマホ対応になったことは時代にふさわしく、今後も様々な情報を発信していくことが大切である。</p> <p>○ 歯科医療専門職の意識や技術を身につけ、地元で活躍してほしい。</p> <p>○ 県唯一の歯科衛生士養成校であり、さらに活躍を期待している。</p> <p>○ 老人に対する歯科の需要は高く、安定性のある職業であることを浸透させることが必要である。</p> <p>○ 保護者が学校情報に触れる方策を工夫すべきである。</p>	<p>1 教育運営委員会並びに教育課程編成委員会で十分な検討を加え、歯科医療の高度化や多職種連携の社会的要請に応えうる力を育成する学校運営をめざす。</p> <p>2 「職業実践専門課程」認定を基として、さらに体制の基盤強化を図っていく。</p> <p>3 学校HPや諸刊行物等により、学校運営や各種教育活動について広報を行う。特に、保護者向けの方策を工夫する。</p> <p>4 学校要覧をさらに整備し、適宜配付することで学校情報の理解を深める。</p>
	B 学校における職業教育の特色は何か。	4.0			
	C 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3.6			
	D 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3.2			
	E 学科の教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界にニーズに向けて方向づけられているか。	3.6			
2 学校運営	A 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	3.9	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 学校評価事業は3年目。関係諸規定を基に円滑に実施し。多くの点で学校運営が改善。（A・B・C）</p> <p>② 学校図書室運営検討委員会を年2回開催。（含 外部有識者2名）（A・B・C）</p>	<p>○ 学校評価事業はなかなかしっくりとした内容で充実しており、今後の展開を期待する。</p> <p>○ 評価事業の各資料から、年を追う毎に良い方向に向いていることが分かる。</p>	<p>1 教育運営委員会を基幹会議とし、校内評価委員会並びに外部有識者を招聘した学校関係者評価・教育課程編成・学校図書室運営検討の3委員会における各協議を取り入れながら学校運営</p>
	B 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.9			

	C 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3. 9	<p>③ 教育運営委員会を年8回、校内評価委員会を年7回開催。両者は学校運営の統括会議。形歯理事会との連携も円滑。(A・B・C)</p> <p>④ 学校HPを全面リニューアルし、専用ブログとともに本校公式インスタグラムによる多様な広報の実施。(G)</p> <p>⑤ 諸規定を整備し、学校要覧と学校HPで公表。(F・G)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 「教務研修規定」の適切な運用と計画的実施。(E)</p> <p>② 時間割作成等業務の効率化。(H)</p> <p>③ 勤務時間に係る就業規則の見直し。(C・D)</p>	<p>○ 学校評価に係るアンケート調査になかなか答えにくい質問があり、検討を要する。また、資料の色使いに工夫が必要である。</p> <p>○ 授業評価の結果を学校運営にどう反映させるかは、大きな課題だと思われる。</p>	<p>の充実を図る。</p> <p>2 各種教務研修の計画的実施と初任者研修の校内研修を充実させ、教務自身が学び続ける姿勢を示す。</p> <p>3 学校評価事業は4年目を迎えるが、内容や方法等の点検を行う。</p> <p>4 授業評価について、その方法とともに結果利用の仕方を検討する。</p> <p>5 授業時間割の決定・変更について円滑化を図る。</p>
	D 人事、給与に関する規程等は整備されているか。	3. 3			
	E 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3. 4			
	F 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3. 5			
	G 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3. 8			
	H 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3. 0			
3 教育活動	A 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3. 8	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 新しい学則と教育課程の実施は概ね良好。(A・C)</p> <p>② 臨床実習の評価方法改善。担当教務による実習協力全施設への訪問面談の実施。(D・E・F)</p> <p>③ 臨地実習の内容充実による達成感の向上。(D・E・F)</p> <p>④ 第3学年「テーマ研究」発表会の公開授業化2年目、研究内容や取組の充実度が向上。(D・H)</p> <p>⑤ 東北文教大学との教育連携事業2年目で年2回の相互交流が実現し内容が充実。また、新たに山形美容専門学校との連携協定を締結し、年3回の充実した教育交流を実施。(D・E・F)</p> <p>⑥ 初めて授業評価を実施。学生は「授業アンケート」、指導者には「授業状況総括表」として回答を依頼し、集約結果を分析検討し諸会議に報告。(G)</p> <p>⑦ 「教務研修規定」に則った計画的な研修実施。(M・N)</p>	<p>○ 3年生の「テーマ研究」発表会は熱心に指導がなされ、大変充実して良かった。</p> <p>○ 「テーマ研究」の成果について、歯科衛生士会研修会に紹介した。</p> <p>○ 2年生の戴帽式は良い雰囲気であり下級生の励みにもなっていると思われる。</p> <p>○ 異分野交流として、東北文教大学や山形美容専門学校との連携は大変有意義である。コミュニケーション力を培うことに繋がる。</p> <p>○ 授業評価の方法や事後対応について、さらに検討し改善を図るべきである。</p>	<p>1 新教育課程2年目となり、さらに内容の充実を図る。</p> <p>2 3年生「テーマ研究」の取り組みをさらに充実させる。指導陣と学校、学生との連携をより密にしていく。また、可能な限り準備を早く進め、後期において、国家試験対策と両立を図る。</p> <p>3 臨床実習先訪問を適宜適切に実施する。</p> <p>4 臨地実習協力校（施設）との連携体制をさらに強固なものとする。</p> <p>5 連携協定締結校（2校）との交流事業の内容充実を図る。</p>
	B 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3. 5			
	C カリキュラムは体系的に編成されているか。	3. 8			
	D キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫や開発などが実施されているか。	3. 5			
	E 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成や見直し等が行われているか。	3. 8			

	F 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3. 7	<p>[今後の課題]</p> <p>① 3年生後期、臨地実習日程と「テーマ研究」発表準備、さらに国家試験対策学習と就職試験対応が重なり加重負担気味。日程調整等が必要。（B・D・J）</p> <p>② 多職種連携に対応する力を培う大学や専門学校との連携のさらなる強化。（D・E・F）</p> <p>③ 授業評価の分析精度の向上。（G）</p> <p>④ 学習成績状況について客観性の高い指標（例GPA）に基づいた分析の検討。（I）</p> <p>⑤ 講師・実習指導者の委嘱や教務の新規採用に係る学校目標への理解の深化。（K・L）</p> <p>⑥ 教務の指導力向上をめざす研修の充実。（M・N）</p>	<p>○ 学生への情報伝達が遅滞することへの指摘について、分析してみる必要がある。</p>	<p>6 授業評価の精度を高め、結果のフィードバック法を工夫する。</p> <p>7 学習成績状況の把握に客観性の高い指標（GPA）を用いる。</p> <p>8 教務研修を充実させ、指導力向上を図る。 また、担任業務の整理と分担を図り、学生への指導に活かす。</p>
	G 授業評価の実施・評価体制はあるか。	3. 6			
	H 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3. 8			
	I 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3. 7			
	J 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3. 7			
	K 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3. 1			
	L 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3. 3			
	M 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3. 5			
	N 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3. 4			
4 学 修 成 果	A 就職率の向上が図られているか。	4. 0	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 国家試験全員合格、資格取得100%をめざす全員指導体制の強化。（A・B）</p> <p>② 学生個々の状況に応じたサポート体制の強化。（C）</p>	<p>○ 3年生後期は、諸活動でかなり忙しいようだが、国家試験対策に影響がないように配慮してほしい。</p> <p>○ 卒業後の離職を防ぐ取り組みをしていく必要があるのではないか。</p>	<p>1 今年度につき、国家試験全員合格をめざす。</p> <p>2 就職活動の早期取り組みを推奨し、後半期の安定的な学習に繋げる。</p>
	B 資格取得率の向上が図られているか。	3. 5			

	C 退学率の低減が図られているか。	3. 2	<p>[今後の課題]</p> <p>① 医療専門職の歯科衛生士をめざす意識の向上。(B・C)</p> <p>② 国家試験対策支援の早期開始と集団指導体制の強化(B)</p> <p>③ 個別面談・保護者面談等の繰り返しによる個に応じた指導の徹底、不適応等による中途退学者の低減。(C)</p> <p>④ 卒業後1年以内の離職防止に向けた指導体制の確立。(D)</p> <p>⑤ 卒業生の社会的活躍の的確な把握と在学生の教育等への反映。(D・E)</p> <p>⑥ 在宅の資格保有者対象の復職支援研修会の内容充実と期すとともに、それに向けた山形県歯科医師会や同歯科衛生士会、本校同窓会との連携の強化。(D)</p> <p>⑦ 超高齢社会に対応した歯科診療への理解の深化。(D・E)</p>		<p>3 医療専門職としての高い意識の醸成を図り、就業後の勤務の充実をめざさせる。(早期離職防止対策)</p> <p>4 個別面談・保護者面談等を積み重ねて、個に応じた指導を徹底させる。 また、指導者側の集団指導体制をさらに強化する。</p> <p>5 卒業後の事後指導として、その活躍状況の把握と在学生へのフィードバックの方策を検討する。</p> <p>6 在宅の資格保有者対象の復職支援対策について、各関係団体等と連携をとる。</p>
	D 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3. 1			
	E 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか。	3. 1			
5 学 生 支 援	A 進路や就職に関する支援体制は整備されているか。	3. 8	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 各学年段階に応じた担任面談・保護者面談、並びに進路選択・決定期の教務主任面談等、複層的な進路指導の実施。(A・G)</p> <p>② 学校カウンセラーによる教育相談の充実。(B)</p> <p>③ 今年度開始の修学支援事業(「特待生制度」・「奨学生制度」)の円滑な運用と学生の学習意欲への反映。(C)</p> <p>④ 厚生労働省指定「専門実践教育訓練給付」に係る学生への円滑な対応。(C・I)</p> <p>⑤ 1年生による母校訪問(夏季休暇期間中)の充実と高校側の好意的な評価。(A・B・J)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 修学支援事業「奨学生制度」の定員充足。(C)</p> <p>② 厚生労働省「専門実践教育訓練給付」制度の有効活用に向けた社会人入学の推進。(C・I)</p> <p>③ 現在国政段階で検討中の「高等教育段階の教育費負担軽減新制度」に係る機関要件確認申請の準備。(C・I)</p>	<p>○ 修学支援事業の開始や厚生労働省「専門実践教育訓練給付制度」講座指定はすばらしい。 今後は、それら教育費負担軽減の事業や諸制度を設置していることを広く周知を図ることが大切である。</p>	<p>1 本校独自の修学支援事業を安定的に実施する。 「奨学生制度」の広報を丁寧に行う。</p> <p>2 厚生労働省「専門実践教育訓練給付」制度を活用し、対象学生の安定的な生活実現に貢献する。 また、入学希望者への広報を行い、定員充足を図る。</p> <p>3 予定されている文部科学省「高等教育段階の教育費負担軽減新制度」の機関要件確認申請を行い、2020年度の学生募集に活かす。</p> <p>4 県や地域主催の行事やイベントに参加し、幅広い社会性の獲得とコミュニケーション能力の向上に努める。</p> <p>5 学校カウンセラーの教育相談や、個別面談・保護者面談等により、学生心身状</p>
	B 学生相談に関する体制は整備されているか。	3. 8			
	C 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3. 8			
	D 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3. 3			
	E 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3. 3			
	F 学生の生活環境への支援は行われているか。	3. 3			
	H 保護者と適切に連携しているか。	3. 6			

	I 卒業生への支援体制はあるか。	3. 7	④ 学生の健康管理体制の明確化と保健室の機能整備。(D)		況等を的確に把握する。
	J 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3. 7	⑤ 県や地域等主催の行事やイベントへの参加による社会性の涵養。(E)		6 1年生の出身高校への訪問を充実させ、本校の取り組みを浸透させる。
	K 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3. 4	⑥ 保護者との応接等に係る研修会の実施。(G)		
			⑥ 学校HPの活用による卒業生の状況把握。(H)		
6 教育環境	A 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3. 3	[主な取組 並びに 成果]	○ 学校図書室が使いやすくなったことは学生にとって大変良いことである。	1 学生対象の緊急連絡システムの構築を早期に行う。 2 学校図書室の環境改善(防犯カメラの整備)を行う。 3 学校図書室運営検討委員会での協議を活かし、より活用しやすい図書室にしていく。 4 防災に関する対策(講話・訓練・備品準備)を行い、災害等に備える。 5 施設設備について、安全点検を定期的を実施し、状況把握に努める。
	B 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3. 2	① 学校図書室運営検討委員会(含 外部有識者2名)を年2回開催し、施設設備や図書拡充等を協議。学習環境が改善。(A)		
	C 防災に対する体制は整備されているか。	3. 6	② 教務等による全臨床実習協力施設訪問の実施。院内見学や指導者との面談による共通理解の深化。(B)		
			③ 防災講話実施による危機管理意識の向上。(C)		
			[今後の課題]		
			① 学生対象の緊急連絡システムが未構築。次年度早期に対応。(A)		
			② 実験室の机椅子等の整備改善。(A)		
			③ 海外研修旅行実施の選択肢を検討。(B)		
			④ 防犯カメラ(記録式)の設置に向けた検討。(C)		
			⑤ 防災用品(毛布・食品)の保管点検。(C)		
7 学生の受入れ募集	A 学生募集活動は適正に行われているか。	3. 8	[主な取組 並びに 成果]	○ 少子高齢化社会の中で、私学が安定した存続を図ることは易しくはないが、幅広く入学志願者を募ること学校としての真剣な取り組みを積極的に浸透を図る努力をすることが必要である。	1 学校の特色や校風、経済支援策の備え、国家試験や就職に係る実績等を広報し、できる限り入学志願者を増やす。 2 文部科学大臣認可「職業実践専門課程」に続いて同省「高等教育段階の教育費負担軽減新制度」の機関確認により、経済支援制度を
	B 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3. 8	① 募集定員や募集対象、入選日程等の変更・改善。(A)		
	C 学納金は妥当なものとなっているか。	3. 8	② 学校HPの全面改良・スマホ対応に変更、Instagram運用開始による広報の充実。(A・B)		
			③ 山形県歯科医師会広報部門との連携によるテレビCMの制作と放映。(A・B)		
			④ 今年度開始の本校独自修学支援制度の広報。(A・B)		

			<p>⑤ 日本歯科医師会事業の映画『笑顔の向こうに』に係る各種の広報。(A・B)</p> <p>⑥ 山形駅東西通路デジタルサインボードでの広報。(A・B)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 高校訪問、会場進学ガイダンス、中学校出前授業、メディア等、各種広報手段による歯科衛生士職への理解の浸透。(A・B)</p> <p>② 山形県歯科医師会広報部門との連携強化。(A・B)</p> <p>③ 在籍学生への広報手段に係る有効度等調査。(A・B)</p>		<p>さらに充実させ、本校の特色化を図る。</p> <p>3 学校HPを幅広く活用し、適時適切な学校情報の発信をおこない、社会に浸透を図る。</p> <p>4 山形県歯科医師会広報部門の支援と連携により、歯科衛生士職の特性等について広報する。</p>
8 財務	A 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3. 1	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 予算執行や財務管理の適正執行。(B・C・D)</p> <p>② 本校独自の修学支援事業(今年度開始)に係る円滑な事務手続き等の執行。(B)</p> <p>③ 財務状況の学校HP上の公開開始。(D)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 厚生労働省「専門実践教育訓練給付」制度の有効活用。また、「高等教育段階の教育費負担軽減新制度」の機関確認の申請書提出。(A)</p> <p>② 本校独自修学支援事業のさらなる広報。(A)</p> <p>③ 日常的な経費節減とともに事業内容の精査による予算適正化の検討。(A・B)</p>	<p>○ 入学者の減少は学校経営に大きく影響する。財政基盤を固めるために学生募集に力を入れる必要がある。</p> <p>○ 幅広い地域からの学生獲得に向けて、宿泊施設等の対応を検討してはどうか。</p> <p>○ 経済支援に関する事業や制度をもっと広報すべきである。</p>	<p>1 定員充足を達成し、学校経営の安定化を図る。</p> <p>2 経済支援に係る各種事業や制度に関して、確実に事務執行をしていく。</p> <p>3 日常的な経費節減を目指しつつ、各事業予算の適正化を検討を継続する。</p>
	B 予算・収支計画は有効且つ妥当なものとなっているか。	3. 2			
	C 財務について会計監査が適正に行われているか。	3. 8			
	D 財務情報の公開の体制整備はできているか。	3. 3			
9 法令等の遵守	A 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3. 9	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 文部科学大臣「職業実践専門課程」の認可申請書の提出。(A)</p> <p>② 学校評価事業(3年目)の充実。「自己評価」と「学校関係者評価」の学校運営への適切な反映。(A・C・D)</p> <p>③ 教育課程編成委員会並びに学校図書室運営検討委員会の各年2回開催。外部有識者の意見の反映。(A・C)</p>	<p>○ 「職業実践専門課程」の認定は大変良かった。このことを様々な形で今後活かしてほしい。学校の取り組みをもっと広報するよう工夫すればよい。</p> <p>○ 現在歯科医療界は歯科衛生士の不足が問題となっており、離職防止と復職支援に向けて、学校としても関係者とともに力を入れていく必要が</p>	<p>1 「職業実践専門課程」認定に係り、学校運営体制のさらなる基盤強化を図る。</p> <p>2 文部科学省「高等教育段階の教育費負担軽減新制度」の機関要件確認をし、2020年度に繋ぐ。</p>
	B 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3. 9			
	C 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3. 9			

	D 自己評価結果を公開しているか。	3. 9	<p>④ 学校HP上に「情報公開」欄を設置。ガイドラインに従い学校情報公開を開始。(A・C)</p> <p>⑤ 「個人情報保護方針」を学校HP上に公開。(B)</p> <p>⑥ 学生へのSNS等スマホ使用法等の情報管理指導。(B)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 「高等教育段階の教育費負担軽減新制度」の機関要件の確認申請の準備。(A)</p> <p>② 公開情報の保護者や一般への周知。(D)</p>	あるのではないかな。	<p>3 復職支援という喫緊の課題に対し、関係団体等と連携していく。</p> <p>4 学校HP上の「情報公開」欄の整備を行うとともに、「職業実践専門課程」の広報に係る具体的方策を早期に策定する。</p> <p>5 学校情報や特色等について、保護者や一般の方々への周知法を工夫する。</p>
10 社会 貢献 ・ 地域 貢献	A 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3. 6	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 第3学年「テーマ研究」発表会の公開授業化(2年目)による歯科医療の状況や健康長寿への関心を惹起。(A・C)</p> <p>② 地域清掃ボランティア年2回実施。(A・C)</p> <p>③ 各種地域ボランティア、歯科医療関連ボランティアへの参加の奨励。(B)</p> <p>④ 「花笠パレード」参加。東北地区「絆まつり」、山形市「祭りだワッショイ！」への団体出場。(A・B)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 学校祭「歯科専祭」の内容改善。地域交流イベント企画の工夫。(A・C)</p> <p>② 第3学年「テーマ研究」発表会の公開授業化継続による高校生や一般参加者の増大。(A)</p>	<p>○ 学校周辺の清掃ボランティアを年3回実施されているが、大変良いことで継続をしてほしい。</p> <p>○ 花笠パレードへの参加は大変良い。学生にとっても楽しいものになるよう期待している。</p>	<p>1 学校周辺の美化を行うことの意義を浸透させ、活動をさらに充実させる。</p> <p>2 「テーマ研究」発表会の公開授業を継続し、歯科衛生生についての意識向上に努める。</p> <p>3 花笠パレードや東北絆祭りや各種の地域ボランティア等への参加を奨励し、地域と一体化した活動を行うことにより、幅広い人間力を涵養する。</p> <p>4 学校祭の内容を改善・工夫し、さらに活性化させる。</p>
	B 学生のボランティア活動を奨励や支援をしているか。	3. 8			
	C 地域に対する公開講座や教育訓練(公共職業訓練等含)の受託等を積極的に実施しているか。	3. 4			